

永遠の友情を誓い「友情のカギ」をかける生徒
～椿山展望台～



瀬戸中学校 少年式記念行事「メロディーウォーク」(佐田岬灯台～瀬戸中学校)

ふれあいいかた

生涯学習だより

自覚・立志・健康を願い町内中学校で少年式



三崎中学校 少年式 式典

2月4日、町内の3中学校で
少年式が開催されました。

3月号

平成26年3月1日発行 No.107

■発行 伊方町教育委員会

■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

より充実した人生を送るために

く 厄年、還暦のみなさんを対象に成人講座を開催く

2月2日(日)、生涯学習センターにおいて平成26年伊方町成人講座を開催しました。この事業は、厄年といわれる33歳の女性、42歳の男性並びに61歳の還暦の男女が一堂に集い、学習や交流の場を通じて今後の家庭や町づくりを考える日として実施しています。

この日は、46名の皆さんにご参加いただき厄払い神事や記念撮影を行った後、成人講座を行いました。今回の講師は、松山東雲短期大学の杉本詠二先生です。「介護予防ってなあに？」という演題で講演をしていただきました。その後、懇親会が開かれ、久々の友との再会に話はずんできました。

人生の大きな節目といわれる「厄年」

を迎えられ、参加された皆さんは、改めて人生を振り返ると共に更なる誓いを立てられたことでしょう。

今後、なお一層のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



介護予防の話を熱心に聞く参加者のみなさん



厄払い神事

責任ある行動を！

く 町内3つの中学校で少年式を開催く

今年、少年式を迎える町内の中学校2年生は、伊方中学校32名、瀬戸中学校16名、三崎中学校18名です。少年式とは、昔の「元服」に当たるもので、14歳のお祝いとして愛媛県内の中学校では昭和39年から行われています。14歳になると少年法の施行対象となり、自分の行動に責任を持たなければいけないので、「自覚」「立志」「健康」の3つを目標に定めています。

2月4日(月)、町内の中学校で少年式の式典が開催され、伊方中学校、三崎中学校では式典の後に、瀬戸中学校では、1月18日(土)にそれ

ぞれ記念ウォークが行われました。保護者や先生方も一緒に参加し思い出に残る一日になったことでしょう。



伊方中学校記念行事「立春チャレンジウォーク2014」



伊方中学校 式典



三崎中学校記念行事「ふるさとウォーク」

湊浦チーム（1部）が優勝！

～ 第43回伊方駅伝大会開催 ～

2月9日（日）、教育委員会及び体育協会伊方支部の主催で、伊方駅伝大会を開催しました。

コースは、田之浦集会所横をスタート、大浜で折り返し、伊方中学校グラウンドをゴールとする18.94km。

チームは、3つの部門があり、1部は地域単位の年齢別10名で構成するチーム、2部は小学校5年生以上の愛好者チームで男子は5名、女性は7名で構成します。

晴天に恵まれた絶好の駅伝日和の中、河野教育長のピストルの合図で一斉にスタート、沿道の声援を受けながら一本のタスキに思いを込めて繋いでいきました。

1部は、強豪「湊浦チーム」が、昨年の覇者「畑」チームを抑え優勝、雪辱を果たしました。2部男子では、「伊方中野球部A」が優勝、2部女子では、「伊方中バスケット部A」が優勝しました。



1部優勝 湊浦チーム

成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	湊 浦	1:07:32
	2位	畑	1:09:38
	3位	大 浜	1:10:53
2部男子	優勝	伊方中野球部A	1:10:17
	2位	伊方中バスケット部A	1:11:21
	3位	伊方中野球部B	1:15:34
2部女子	優勝	伊方中バスケット部A	1:18:50
	2位	伊方中バレー部	1:20:51
	3位	伊方小ミニバス	1:23:34



田之浦集会所横を一斉にスタート

地域の女性指導者が一堂に会する

～ 伊方町女性のつどい開催 ～

1月19日（日）、地域の女性指導者42名が参加し、平成25年度伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るく心豊かな住みよい町づくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、伊方町婦人会（渡邊紀代会長）と町教育委員会が共催し、毎年実施している事業です。

今年度は、愛媛大学総合科学研究支援センター医学博士 増田晴造先生を講師にお招きし、「放射線の人体影響と防護」と題して講演が行われ、放射線に関する単位から始まり、人体への影響、防護、福島原発事故の状況などについて、わかりやすくお話しいただきました。

講演終了後は、伊方スポーツセンター健康運動指導士渡辺勅数先生を講師に迎えて「健康講座」をおこない、骨盤の調整方法について指導を受け、レクリエーション



放射線に関する講演



健康講座



伊方町婦人会 渡邊会長のあいさつ

を交えながらの講座で、大変賑やかな楽しい時間を過ごしました。

新春の岬路で1本のタスキと絆を繋ぐ!~第46回三崎駅伝大会~

三崎公民館

新春の岬路を舞台に1月19日(日)、「第46回三崎駅伝大会」が開催され、小学生から社会人までの37チームがタスキを繋ぎました。

今年で46回を迎えた三崎駅伝大会は、今回からコースが見直され、全部門6区間編成で行われました。また、ビギナーの部が廃止され、代わって小学生の部が新設されました。

開会式では初めに河野大会長が、「日頃鍛えた健脚で力いっぱいがんばって下さい。」と選手を激励。それに答えて、三崎高校女子バレーボール部の渡辺愛梨さんが、「タスキをつなぐ仲間と応援してくれる地域の人のため精一杯頑張ります。」と元氣よく宣誓しました。

開会式終了後、少し緊張した面持ちでスタートラインに集まった選手達は、午前9時30分の号砲とともに一斉に駆け出し、6区間15kmに及び熱戦が始まりました。

レースは終盤まで混戦の様相を呈した中学校男子の部で、三崎中3年チームが最終区間で先



号砲とともに駆け出す選手達

優勝チーム

部 門	チーム名	記 録
小学生の部	喜須来ジュニアA	1時間03分56秒
中学男子の部	三崎中3年	56分38秒
中学女子の部	バレーA	1時間05分46秒
高校男子の部	三崎高校男子バレーボール部	56分48秒
一般の部	四E伊方そろそろ走ラン会	1時間00分04秒
女子の部	三崎高校女子バレーボール部	1時間10分52秒

頭との差1分2秒を跳ね返りトップでゴール。また、今年度で廃校となる佐田岬小学校からは、チーム名を「さようなら佐田岬小学校」と称して児童2チームと一般の部の「佐田岬小学校永久に」チームには関岡校長先生自らが選手となり教諭とPTAの混成で出場し、沿道からは選手達に惜しみない声援が送られていました。



タスキを繋ぐ三崎中3年チーム

中央教室「工場見学」

中央公民館

1月27日(月)に学芸会の振替休日を利用して、中央教室「工場見学」を開催しました。伊方町を飛び出して普段は見ることができない身近な製品の製造現場を実際に見てもらおうと、(株)あわしま堂と愛媛新聞印刷センターに工場見学に行きました。

あわしま堂では会社の概要を聞いた後、マスクや白衣を着用して工場の中を見学しました。食べたことのあるお菓子が大量に作られている様子を見て歓声があがっていました。その後、出来たてのお菓子の試食やお土産もいただき子どもたちは大満足だったことと思います。

次に昨年完成したばかりの愛媛新聞印刷センターに行きました。見学に行った時間帯は輪転機は稼働していませんでしたが、重さ1.3トンもある印刷用紙や工場内のインクの匂いに驚いていたようです。

最後に集合写真の入った記念新聞を頂き見学の良い記念になりました。

普段何気なく食べているお菓子や、読んでいる新聞がどのように作られているか実際に見ることができて貴重な体験になったのではないのでしょうか。



←記念新聞

愛媛新聞印刷センター見学



あわしま堂工場見学

「二見公民館まつり開催」(第30回二見地区ふるさとまつり)

町見公民館

恒例の二見公民館まつりが1月26日(日)、二見小学校体育館を主会場に開催されました。この公民館まつりは、地域に密着した文化活動の展開と振興を図ることを目的に開催されたもので今回で30回目となります。

当日は、亀ヶ池生活研究協議会のおいしいバラ寿司・ぼた餅や焼肉のタレなどの「ふるさとの味即売」があり、大変好評でした。

作品展示コーナーでは、保育所園児と保護者の作品、小・中学生の書道や絵画、各団体の手芸、生け花、短歌、俳句、絵手紙等の作品が体育館半分のスペースいっぱいに表示されました。

午後からの「芸能発表のつどい」では14のプログラムで舞踊・歌謡等が披露されました。今回は30回の記念大会ということで、「伊方堂万太鼓シユニア」による演奏も披露され、会場いっぱいに拍手が広まりました。



最後はもちまきで、和やかな雰囲気になりました。まつりはお開きとなりました。出展、即売、出演および協力してくださいましたみなさん、ありがとうございました。

雪山スキー教室

瀬戸公民館

2月8日(土)、瀬戸地域の小学5～6年生19名の参加のもと、小田スキー場にて、恒例となっている雪山スキー教室を開催しました。

スキー場に到着すると、早速教室を開始。子どもたちは、初心者と経験者の2班に分かれて、それぞれインストラクターの方の指導のもと、別々のメニューで教室を進めていきました。

午前中、初心者組はグレンデの下の平らに近い場所での基礎をしっかり教わり、経験者組は少し練習をした後すぐにリフトに乗ってグレンデを滑っていききました。初心者組もインストラクターの丁寧な指導もあって午前中には、滑れるようになりました。

風食を挟んで、午後からは、初心者組も念願のリフトに乗り、経験者組と同様、どんどんグレンデを滑っていききました。途中、霧の襲来にあい、瞬く間に子どもたちの姿が確認出来ない状況になり心配しましたが、白い霧の中を滑り降りて来る子どもたちのスキーの上達具合には目を見張るばかりでした。

子どもたちの表情を見れば、来年以降も継続し、爽やかな笑顔と壮大な自然に挑戦したいものです。



「知って得する脳卒中のはなし」壮年会員を対象に講座を開催 ～ 中央公民館 ～

1月19日(日)、中央公民館において壮年会員を対象とした壮年講座を開催しました。

この催しは、町の中核を担う壮年層を対象とした講座を毎年新春に行っているものです。

今年の講座は、松山市民病院に勤務されている、脳神経外科部長の角南典生(すなみ・のりお)先生を講師に招き、「知って得する脳卒中のはなし～脳卒中は予防できます～」と題しての講話がありました。

角南先生は、公民館などを中心に脳卒中の啓発活動を始められている他、脳に関する著書も多数、発刊されておられます。また、お聴きになった方も多いと思いますが、毎週日曜午後3時から、南海放送ラジオで松沢はつみさんと、脳に関するトークも行っています。

講演の内容については、脳卒中を発症した症例の紹介の他、脳卒中予防10か条(※1参照)の中から、「手始めに高血圧から治しましょう」、「予防にはタバコを止める意志を持って」、「アルコール控えめは薬過ぎれば毒」についてお話をいただきました。

血圧が高いほど、脳卒中の危険性が高まることから、家庭でも血圧を毎日測り、自分の血圧を把握しておくことや、外国のタバコの箱には、未熟児の写真などが使われていて、タバコは体に良くないことをイメージさせる工夫をしていることなどのお話がありました。

また、1日の飲酒量の目安(※2参照)についての紹介



もありました。

脳卒中は、いつ・どこで発症するかわからない病気であるため、おかしいなと思ったらすぐに病院へ受診すること。

そして、日常生活を見直すいいきっかけになったのではないかと思います。

※1 脳卒中予防10か条

- 1 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つかり次第 すぐ受診
- 4 予防には タバコを止める 意志を持って
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

※2 節酒(1日飲酒量の目安)



児遊館より

「オリジナルのしおり」を作しましょう!

3月15日(土) 午後2時から、自分だけの「オリジナルのしおり」を作しましょう!

参加される方は当日時間までに、3階児遊館にお越し下さい。

参加費：無料

映画上映会のご案内

3月8日(土)、3階児遊館にて映画上映会を行います。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 若草物語～ナンとジョー先生～

上映時間 1回目 10:00～11:30

2回目 15:00～16:30



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館
38-0211(内線856)

伊方スポーツセンターをより

受講生募集中!! 」」スイミングスクール

内 容) プールで楽しみながら、泳法の習得と体力の向上を目指します。また、団体行動における礼儀作法や協調性を学び、社会性を育みます。

日 時) 毎週水曜 中級のみ 16:30～17:20
(4泳法練習)

毎週木曜 初級 16:30～17:20

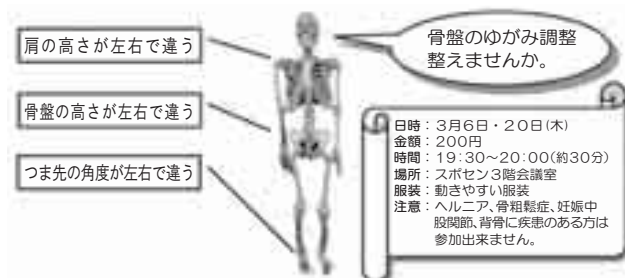
中級・上級 17:30～18:20

料 金) 3200円

場 所) 室内温水プール

その他) 施設の無料使用等、特典あり。

ストレッチポールで骨盤調整 (Pelvic Conditioning)



日時: 3月6日・20日(木)
金額: 200円
時間: 19:30～20:00(約30分)
場所: スポセン3階会議室
服装: 動きやすい服装
注意: ヘルニア、骨粗鬆症、妊娠中、股関節、背骨に疾患のある方は参加出来ません。

なお詳しいお問い合わせは下記にご連絡下さい。

伊方スポーツセンター 38-1100、38-0776



学校通信



笑顔の嵐 巻き起こす

九町小学校

九町っ子の

笑顔のあらし まきおこせ

厳寒の心配をよそに、1月最後の日曜日に九町っ子学芸会が盛大に行われました。1年生の開会挨拶から始まり、6年生の閉会挨拶まで、見どころいっぱい笑顔いっぱいの3時間になりました。

いたずらなめきとやさしい夫婦をかわいくミュージカルっぽく演じてくれた1年生の「ためきの糸車」、よくばり和尚さんと3人のこぞっさんの仲のいい掛け合いが絶妙だった2年生の「ちんねん こんねん かんねん」、きつねの子どもたちと庄屋たちのキャラクターが楽しく際立っていた3・4年生の「九ばけずきん」、自分たちのもっているいっば

いの夢や可能性を元気に表現した5年生「ドリームキャッチャー」、現代っ子の桃太郎や個性豊かな犬・猿・雉と鬼、あつと驚く結末に爆笑だった6年生「ザ・ピーチ」桃太郎異聞、どの学年もどの子ど



もたちもたっぷり会場を楽しませてくれました。

招待出演の九町保育所年長さんの衣装も踊りも見事でした。十手を片手に粋な男の子の「大江戸捕物帖」、日本舞踊を見るような艶やかな女の子の「梅の花咲いた」。幕が下りた後の拍手にも力が入っていました。

これら子どもたちの活躍に保護者も負けてはいません。練りに練った脚本と九町PTAオールスターの出演による「金のがちよう」。あまちゃんやら、おもてなしやら、九町の名店やら名産やら、金のがちようやら、お姫さま(画像参照)やら…。

老若男女が一堂に笑顔の嵐に巻き込まれた一日でした。

「少年の日」決意あらたに

瀬戸中学校

♪回る風車に夢託し

理想求めむ瀬戸中生…

校歌の一節です。瀬戸中学校の「少年の日」記念行事は、瀬戸の風に決意を誓う「メロディウオーク」から始まりました。

1月18日、早朝にチャレンスはスタート。コースは半島の先端、佐田岬灯台から瀬戸中学校までの全長約42キロメートルです。みぞれ、強風、脚の痛みの中、仲間と励まし合いながら、ひたすらゴールをめざしました。たくさんの方々の応援も心強かったことでしょう。途中、見晴山から権現山まで、風車の連なる尾根つたいを歩き、権現山展望台で一人ひとりの決意を叫びました。ふるさとの風を感じながら、最後まで歩ききった42キロ。日没までに全員がゴールし、困難に打ち勝つ強い意志、仲間と支え合うことの大切さを感じた一日となりました。

そして2月4日、立春。少年式が行われました。式のメインは、2年生16名の決意発表です。「少年の日」を迎えるにあたり、自分を向上させるために必要なこと、将来の夢をかなえるために今ががんばらなければな

らないことを、それぞれが決めました。「限界をつくらず努力する」「笑顔を絶やさない」「信頼される人になる」等々、その思いを四字熟語にのせ、一人ひとりが堂々と力強く決意を宣言しました。また今年度は、式後に決意作文の発表会を行いました。友

だちや保護者の温かい雰囲気の中、決意にこめた自分の思いや将来の夢、これからの自分について語りました。

2つの行事を終え感じるのには、子どもたちの周りにはいつも支え見守ってくれる仲間や大人たちがいるということです。瀬戸の風に、そして支えてくれるたくさんの人たちに誓った決意。「少年の日」を人生の1つの節目として、瀬戸中生はさらに自分を前進させていきます。





図書館だより



3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	②②
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

○…おはなし会 ■…休館日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日

瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

《一般書》

『注文の多い注文書』 小川 洋子／著
『月光の誘惑』 赤川 次郎／著
『舞台』 西 加奈子／著
『とまどい本能寺の変』 岩井 三四二／著
『首折り男のための協奏曲』 伊坂 幸太郎／著
『怒り 上下巻』 吉田 修一／著
『ビブリア古書堂の事件手帖 5』 三上 延／著
『りぼぐら!』 西尾 維新／著
『心の力』 姜 尚中／著
『LOVE理論』 水野 敬也／著
『すばらしき特殊特許の世界』 稲森 謙太郎／著
『毎日がときめく片づけの魔法』 近藤 麻理恵／著
『ジェフ・ベゾス果てなき野望』 ブラッド・ストーン／著
ほか

《児童書》

『ピヨピヨスーパーマーケット』 工藤 ノリコ／著
『おめでどうのおふろやさん』 とよた かずひこ／さく・え
『パピプペポーおんがくかい』 かこ さとし／作・絵
『りんごかもしれない』 ヨシタケ シンスケ／作
『ひなまつりのお手紙』 まはら 三桃／作
『どーしたどーした』 天童 荒太／文
荒井 良二／絵
『がっこうのおばけずかん』 斉藤 洋／作
『時計がわかる本』 矢玉 四郎／著
『世界の不思議な野菜』 湯浅 浩史／著
『新美南吉ものがたり』 楠木 しげお／作
『五年霊組こわいもの係』 床丸 迷人／作
『若おかみは小学生!スペシャル短編集1』 令丈 ヒロ子／作
ほか

新しく購入した本は図書館ホームページからもご覧いただけます。 URL <http://library.town.ikata.ehime.jp>

おはなしボランティア養成研修会のお知らせ

日 時：3月2日(日) 午後1時30分～
場 所：中央公民館 2階 視聴覚室
内 容：絵本・紙芝居・パネルシアターなど実践を交えた読み聞かせの指導
講 師：吉岡 泰子 氏（とべまほうのつえ 代表）
対 象：読み聞かせに興味のある方
定 員：40名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込先：伊方町立図書館 TEL：38-0607



本がやぶれたときは・・・

図書館の本を誤って破ってしまったときは、専用の道具を使って修理しますので、自分で修理をせずに図書館へそのままお持ちください。家庭用のテープなどで補修すると、修理が困難になります。

ピップスおはなし会のご案内 ～3月のおはなし会～

日 時：8日(土)・22日(土)
午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：小学生以下の子どもとその保護者

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

佐田岬半島の自然 スライド上映会

3月26日(水) 19時～

今月のテーマ

「佐田岬半島の巨樹名木」

入場無料・お気軽にお越しください

◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
■ 開館時間 9:30～16:30
■ 休館 月曜日ほか

2014年3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

○=夜スライド上映 □=休館日

文化財を火災から守る

今年も文化財防火デーのシーズンが訪れました。1月23日に九町の天徳寺、26日に三崎の伝宗寺(写真)で模擬火災訓練や設備点検等が行われました。地域の誇りや愛着にもつながる文化財一火災から守って未来に渡したいですね。



町見郷土館から

石工さんの話

見事な石積みが見られるのが佐田岬半島の魅力のひとつです。

そんな石垣を作ってきた石工(エバ)という呼び方もありました(の川上勇一さん(河内・一九三三年生まれ)からお話をうかがうことができました。

石垣を築くことを「石垣をツク」といいます。まず石垣をツクための石ですが、昔はイシヤマと呼ぶ採石場が規模の大小こそあれ町内各地にありました。イシヤマの岩盤に火薬をしかけて発破し、玄能(ハンマー)のような道具で割って石材を準備します。現場では、石工さんと補佐のイシマワシさんとでツキます。

まず、鍬(くわ)やタコと呼ぶ地面を叩く道具でトコ(底面)



を整えます。石は普段見えるツラ(表面)からは分かりませんが、ヒカエ(奥行)の深い形に整えてツクそうので、青石はこの整形が難しいといえます。また隙間にはグリという小石をしっかりと詰めました。角部分はカドイシ、天頂部はテンバという大きめの石をつきます。ツキ方には平らなヒラ積み(ベタ積み)、矢羽状のタテハ(写真)のほか、オトシツキやミダレツキというツキ方もありました。

畑や家の基盤として石垣をツクほか、道路端のヤマトメ(崩れ防止)の石積み、また河川の側面の場合は松の木を底に敷き平たい石を重ねた上に石をツクそうので、川底も石を立てて敷きました。漁港の波止は長いオオバトと短いタツバトのセットで



タテハのつき方

ツキますが、干潮時に底掘りをせねばならず大変でした。また井戸の場合、石垣と逆に先の細いヒカエ側を内側にそろえてツキますが、深い穴底での作業はとても恐ろしかったそうです。

見事な石垣は、どれも職人さんの卓越した技と苦勞の結晶でした。

取材協力/川上勇一さん
川道哲三さん

平成25年度 人権作文から

「男と女」

伊方中学校 3年 中藤 廉

私が生活の中で疑問に思うことに、「男のくせに」「女のくせに」、また「男らしく」「女らしく」という言葉があります。私は男です。体をみて男です。小学校の保健の授業で、男と女の違いを勉強したときも、体の違いが一番に出ていました。それでは、「男のくせに」の男とはどんな意味だろうと考えました。

人それぞれ、いろいろな男のイメージがあると思います。が、きつと強そうな人のイメージだと思います。だとしたら、女は弱いというイメージになるのでしょうか。誰がそんなイメージを作ったのでしょうか。自然とそういう風に思うように考えてしまうのでしょうか。男は強く力持ち、どんなことにもどっしりとした気持ちで、弱い人間を助け、ヒーローみたいな人が男。少しオーバーかもしれませんが、女の人から見たらこういうのが求められる男のイメージなのかもしれません。それなら、女は弱く家庭を守り愛する者のためなら何でもやれる、そういうところが求められる女のイメー

ジでしょう。身体的な特徴は男と女で分かれるけれど、性格はあまり大きく分かれなないと私は思います。

私の住んでいる地区で、毎年役場の職員の人や学校の先生、地区のみんなが集まって人権のことを話し合う会合があります。私の家からは母がいつも行っています。帰ってから、その日みんなで話し合ったことを家族に言ってくれます。男女差別のことが話題になることが多いそうです。

これは、母から聞いた話です。ある女性が就職をし、仕事をチームでするとき、自分以外は男性しかいないところに配属になりました。その女性には自分の仕事に自信を持っていたので、男の中でも負けないと意気込んでいました。

仕事も順調に進み、徹夜で書類作りをするほどになりました。女性も遅くまで働くつもりでしたが、上司には帰っていいと言われました。女性は、「私も残ってやりたいです。」と言いましたが、上司の人に「こういうきつい仕事は男がやる仕事だから。あと、肌荒れ

でも大変だしね。」と言われました。その女性は参加させてもらえなかったことを「性差別ですか。」と問いかけました。この話を聞いて一番に思ったことは、上司の言い方はどうだったのかということでした。

上司は、女性は弱いと思うてきついことをさせればかわいそうと思ったかもしれない。それとも、女のくせに男の仕事にどこまで入ってくるんだといういらだちで、帰らせてしまったのかもしれない。もし、女のくせにと思ったのなら差別だと感じます。仕事がいっしょなら、男も女も関係ないと思います。つらい仕事やきつい仕事だということ

はわかっていて、仕事を続けているのだから。ただ、この例と一緒に働いていた男の立場を考えてみると、男は身体的にきつい場合でも、家庭的な事情がある場合でも、帰らせてくれとは言えない状況に置かれていることになりました。これは過剰労働による健康障害につながる性差別だということも考えられます。

今は、男女どちらでもなれる仕事が増えてきています。最近男の保育士を見かけます。男の人の保育士というのは、難しい職業だと思います。男の人には、トイレなどの世話

はさせないでくださいと言ってくる保護者もいるそうです。資格もちゃんと取っている人なのに。ここでも男と女の違いによる問題が現実にあると思います。ある男の保育士は、女の保育士と一緒にエプロンを着けて仕事をしていたそうです。ある日、自分がこ

で何ができるかを考えました。そして、エプロンを外してシャワー姿になることで園児のお父さんになろうとしたそうです。私は、性差別を自覚して現実的に自分のやれることを考えて行動したところに感動しました。

誰でも一度くらいは異性の相手のことを男のくせにとか、女のくせにとか否定的に考えたことがあると思います。そして、自分の考える男や女の

イメージに対して、「らしくない」と感じることもあります。しかし、男と女のイメージは時代や国によってもかなり違い、これからどんどん変わってくると思います。

私たちが目指すのは、男女が社会の中で対等であり、自分の意志によって社会に参画し貢献することができ、そして責任を担う社会をつくっていくことです。そのために、私はこれからも男女の違いや性差による問題点について、現実的に考えていきたいと思っています。そして良い意味で、「男らしい」「女らしい」ところを互いに出し合って生きていく、本当の意味での男女の共生社会をつくっていききたいです。

平成25年度 人権メッセージから

「思いやりの心」

伊方小学校 6年 岩崎 綾奈

気付いていますか。点字ブロックがだれのためにあるのか。分かっていますか。車いす専用駐車スペースはだれが使うものなのか。点字ブロックの上に自転車を置いたり、車いす専用駐車スペースに車をとめたりする、私達の何気

ない行動が、障害のある人々を、不便な生活に追いやっていくのです。

みんなが相手の立場になり、思いやりの心をもつと、だれもが平等に生活できる世の中になるはずです。

文芸

俳句

伊方俳句の会

朱い椿露天の湯気に触れて落

つ 木戸悦子

良きことの願う手のさき風光

る 門田千枝

大風車越えて尾根より霧迫る

二宮壽賀子

柴犬^{いぬ}せがむ靴下重ね早朝散歩

石井義夫

退院の患者に厳し春時雨

上田サチエ

梅一輪一輪つつの力瘤

山崎美喜



擦れちがう犬も馴染みや花菜
道 上田幸香

小夜しぐれ軒場に子雀宿りけ
り 井上良枝

八十路坂只ひたすらに寒昂
上田益男

恩師より喜寿おめでとう年賀
来る 宇都宮睦子

筆を持ち贈る心の年賀状
宇都宮法子

石鎚やくさを登る信者たち
上田文男

早春の淡き日差しに大根干す
篠川勝子

桜桃の花芽赤らむ今朝の雨
渡辺日出子

旅遠き岡山の宮迄初詣
足利敦子

瀬戸句会

わが作る文旦太り精気満つ

福岡博

虎落^{もがりふえ}笛ひときわ激し海荒るる

佐々木忠雄

寒鰯を喰らう兄妹箸すすむ

井上幸子

ヨットマン母の形見の襦^{どろ}袍着て

吉見福子

落ち椿なお鮮やかに地に咲けり

浅井ミドリ

小春日や手足軽やか農に生き

佐々木サチ子

傘寿かな三寒四温気のままに

北英二

春の雪使はぬ部屋の二つほど

佐々木禮子

北斗の会

半島に老いて今年も明けにけり

伊藤植美

働くてじつと見つめる霜の朝

井上奈津子

車過ぐ度に落葉のジャンプして

佐々木順子

寒ひじき刈る豊饒の磯に出て

藤村富士子

軒下を借りて過ぎ遣る時雨かな

上田百合子

あみだ句会

香煙の墓への道や霜日和

西上ミツヨ

水仙の香り豊かに部屋灯

中村千代香

初春や嬰の笑顔の清清し

阿部ヨシ子

地下足袋の凍てつく朝の農作

業 松本光子

初仕事銚新たに手袋も

宮部タミエ



久々の幼児の声お正月

玉里宏子

海藻の賑う渚春隣

高月仁

退院の庭に色づく冬木の芽

木原敬明

厄年の人なき浦の小正月

池井為吉